

受講料
無料

出張！専門職があなたの事業所に伺います

即実践！リハビリ・口腔・栄養アドバイス講座

自立度の高い要支援者への関わり方に悩んでいませんか？「サービス提供時以外の生活でも運動や活動を促したい。」「健康管理への意識を高め、自立した生活を続けてほしい」そう思っても、どんな声かけや支援が効果的か迷うことが多いものです。このようなケースこそ、専門的な視点と明確な目標設定が大きなカギになります。この講座では、日頃、介護予防教室の講師を担う専門職が事業所に出向き、リハビリ・口腔・栄養の観点から現場ですぐに活かせる具体的なアプローチをお伝えします。事業所内研修としてぜひご活用ください。

主に要支援の利用者の方を想定した内容です。今年度はリハビリの講座が加わりました！



対象

介護予防・生活支援サービス事業所
※理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・管理栄養士が在籍していない事業所の職員

申込

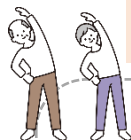
(公財)岡山市ふれあい公社 岡山市ふれあい介護予防センター
二次元コードのフォームよりお申し込みください。

フォーム入力内容(①～⑤)

- ①事業所名 ②連絡先・担当者名
- ③希望日時(第一希望、第二希望を入力)
※土・日・祝を除く、10時から18時の時間帯、その他は応相談
- ※各事業所1回・1時間以内
- ④希望のテーマ(下記から選択)



ヘルパーに
おすすめ！



リハビリ

- ・すぐに始める！
転倒予防の運動
- ・高齢者の腰痛について
- ・自分でできる！おすすめの
トレーニング方法の提案



口腔

- ・むせを防いで元気に食べる！
誤嚥予防と口腔ケア
- ・“かめる”が元気のカギ！
低栄養予防のためのポイント



栄養

- ・低栄養・脱水予防
訪問時に気づける視点づくり
- ・知っておきたい
食事療法のポイント



※その他、ご希望に合わせて講話可能
(食品の保存、食形態、簡単調理など)

⑤各専門職への質問等 ※質問をピックアップして回答します。

質問例

- 口腔体操の実施のポイントはあるの？
- 低栄養のサインって？
- よくムせる方へすぐできる対応ってある？
- ところみはどれくらいつけるのが正解？
- 効果的な運動強度や回数の目標はどれくらい？
- 腰痛が出現しにくい動作や声掛け方法は？
- ふらつきがあるが杖を使いたくない人への対応は？

注意事項

申込み多数の場合、講座を終了することがあります。ご了承下さい

【問い合わせ先】(公財)岡山市ふれあい公社 岡山市ふれあい介護予防センター
(電話)086-274-5211